

URL フィルタ ASP サービス  
クライアントソフト操作マニュアル

2005 年 4 月  
石川コンピュータ・センター  
incl 事務局

# —目次—

1. 設定 .....	4
2. マルチユーザについて .....	7
3. 各種設定画面 .....	8
3.1 設定メニュー .....	8
3.1.1. 設定ユーザの選択 .....	8
3.2 設定画面メニュー .....	8
3.2.1. ユーザー個別設定 .....	8
3.2.2. 共通設定 .....	8
3.2.3. その他 .....	8
3.2.4. i-フィルターの終了 .....	8
3.3 フィルタリングモード .....	9
3.4 フィルタリングモードの解説 .....	9
3.5 フィルタリング機能設定方法 .....	10
3.6 フィルタリング機能解説 .....	10
3.7 エラー時の処理設定方法 .....	11
3.8 エラー時処理の解説 .....	11
3.9 各種設定 .....	12
3.9.1. 簡単設定解説 .....	12
3.9.2. 個別設定 .....	12
3.10 ブロックカテゴリ詳細 .....	12
3.10.1. ブロックカテゴリ設定方法 .....	12
3.10.2. レベル設定カテゴリ（弱0－1－2－3－4強） .....	13
3.10.3. カテゴリ選択 .....	13
3.11 使用禁止時間の追加と削除 .....	14
3.11.1. 使用禁止時間の追加方法 .....	14
3.11.2. 使用禁止時間の削除方法 .....	15
3.12 ブロック画面 .....	16
3.13 ブロック状況を表示する .....	18
3.14 ユーザー定義の設定 .....	19
3.15 ブロック画面設定方法 .....	20
3.16 環境設定 .....	22

3.16.1.	環境設定の変更方法.....	22
4.	共通設定.....	24
4.1	ブラック除外リスト.....	24
4.1.1.	ブラック除外リストの設定方法.....	24
4.2	ブラックリスト.....	25
4.2.1.	ブラックリストの編集方法.....	26
4.3	禁止語句・単語.....	27
4.3.1.	禁止語句・単語の設定方法.....	28
4.4	ホワイトリスト.....	30
4.4.1.	ホワイトリストの設定方法.....	30
4.5	ユーザーモード変更.....	32
4.5.1.	マルチユーザーモード (Windows2000/XP のみ対応).....	32
4.5.2.	シングルユーザーモード (Windows98/Me/2000/XP).....	32
4.6	パスワード設定.....	32
4.6.1.	パスワード設定方法.....	32
5.	その他機能.....	33
5.1	ログ表示.....	33
5.1.1.	ログに記録された URL アドレスをブラックリスト、ブラック除外リスト、ホワイトリストに追加する方法.....	33
5.2	バージョン情報.....	34
5.3	製品バージョン情報.....	34
5.4	不正な操作に関する情報.....	34
5.5	認証情報.....	34
5.5.1.	正常時のステータス.....	35
5.5.2.	異常時のステータス.....	35
5.6	モジュールのバージョン.....	35

シリアル ID 記入欄

										@							
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--

## 1. 設定

### ①設定ログイン画面の表示

「スタートメニュー」の中の「プログラム(P)」の中の「i-フィルター Active Edition」にカーソルを合わせ、その中の「i-フィルター Active Edition」をクリックします。



### ②設定を行うためにログインする

設定ログイン画面が表示された後、『設定パスワード』を入力して、「ログイン」ボタンをクリックしてください。



### ③設定を行う

設定にログインを行うと、設定メニュー画面が表示され、フィルター機能は"OFF"の状態になります。また、タスクトレイの「i-フィルター Active Edition」アイコンが"フィルター OFF"の状態になります。



④設定完了後、フィルター機能を“ON”にする

フィルター設定完了後は必ず、ページの右上の「フィルターON」ボタンをクリックしてください。



## 2. マルチユーザについて

Windows2000/XP をご利用の場合、「i-フィルター Active Edition」は Windows のログオンユーザー毎に設定することが可能です。Windows にログオンを行うとユーザーを自動的に判別し、ユーザーごとのフィルタリングポリシーを設定することが可能です。詳しくは第 4 章 機能説明 4-1 各種設定画面 ユーザーモード変更をご覧ください。



※Windows98/98SE/ME には対応していません

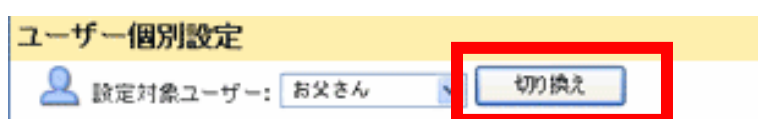
### 3. 各種設定画面

#### 3.1 設定メニュー

「設定メニュー」では、「i-フィルターの終了」、「各種設定への移動」を行うことができます。設定を行っている際は、フィルターが"OFF"の状態になっています。設定を終了する場合やフィルター機能を"ON"にする場合は、「フィルターON」ボタンをクリックしてください。

##### 3.1.1. 設定ユーザの選択

Windows のアカウントの一覧が表示されていますので、その中で設定したいユーザーを選択してください。



#### 3.2 設定画面メニュー

##### 3.2.1. ユーザー個別設定

フィルタリングモード	フィルタリング機能の動作設定を行います。
ブロックカテゴリ	フィルタリングする強度や、カテゴリの選択の設定を行います。
使用禁止時間	ページの表示を禁止する時間帯の設定を行います。
ブロック画面	ブロックされた場合に表示するページの設定を行います。
環境設定	プロキシサーバの設定と起動時の動作設定を行います。

##### 3.2.2. 共通設定

ブラック除外リスト	ブロック対象外の URL アドレスを登録できます。
ブラックリスト	表示を禁止する URL アドレスを登録できます。
禁止語句・単語	語句・単語が含まれるページの表示を禁止する設定ができます。
ホワイトリスト	ホワイトリストモードで表示を制限する URL アドレスの登録ができます。
ユーザーモード変更	マルチユーザーモード、シングルユーザーモードを切り換えます。
パスワード変更	設定にログインするためのパスワードを変更します。

##### 3.2.3. その他

ログ表示	フィルター機能がONのときに表示したホームページの履歴を確認できます。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

##### 3.2.4. i-フィルターの終了

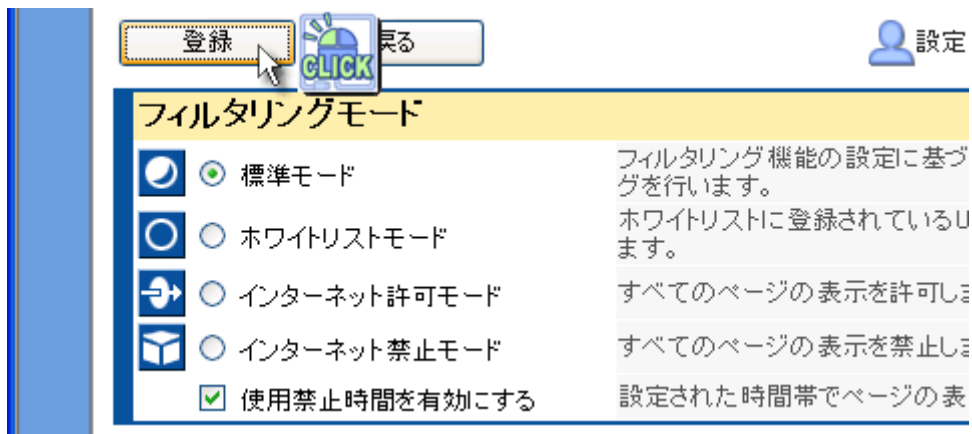
アプリケーションを終了します。



### 3.3 フィルタリングモード

#### ① フィルタリングモード設定方法

設定したい「フィルタリングモード」、「使用禁止時間」を選択し、変更内容を保存するには「登録」ボタンをクリックします。



### 3.4 フィルタリングモードの解説

#### (1) 標準モード

「フィルタリング機能」の設定に基づき、有害ページのフィルタリングを行います。通常はこのモードで使用します。

#### (2) ホワイトリストモード

ホワイトリストに追加した URL アドレスのみ閲覧を許可し、その他のページは閲覧することができません。特定の URL アドレスのみの閲覧を許可する場合などに使用します。

#### (3) インターネット許可モード

フィルタリングを行わず、すべてのページの閲覧を許可します。コンピュータ管理者のアカウントではこの設定にしておくくと便利です。

#### (4) インターネット禁止モード

すべてのページの閲覧を禁止します。特定のアカウントのインターネットの使用を禁止する場合などにお使いください。

(5) 使用禁止時間を有効にする

「使用禁止時間を有効にする」に設定すると、指定した時間のインターネットの使用を禁止します。お子様の深夜のインターネットを禁止する場合などにお使いください

### 3.5 フィルタリング機能設定方法

①「標準モード」を選択した場合は、「フィルタリング機能」をカスタマイズし、変更内容を保存するには「登録」ボタンをクリックします。

フィルタリングモード	
<input checked="" type="radio"/> 標準モード	フィルタリング機能の設定に基づいて行います。
<input type="radio"/> ホワイトリストモード	ホワイトリストに登録されているURLのみ表示されます。
<input type="radio"/> インターネット許可モード	すべてのページの表示を許可します。
<input type="radio"/> インターネット禁止モード	すべてのページの表示を禁止します。
<input checked="" type="checkbox"/> 使用禁止時間を有効にする	設定された時間帯でページの表示を禁止します。

フィルタリング機能	
標準モード時に使用するフィルタリング機能にチェックを入れてください。1から5まであり、該当するページの表示を禁止、または許可します。	
<input checked="" type="checkbox"/> 1.ブラック除外リスト	URLがこのリストに登録されていけません。
<input checked="" type="checkbox"/> 2.ブラックリスト	URLがこのリストに登録されていけません。
<input checked="" type="checkbox"/> 3.システムデータベース	「i-フィルター」のシステムデータベース(サーバ)を使用して判定を行います。判定はレベルの設定に依存します。
<input checked="" type="checkbox"/> 4.PICS	HPの作成者が自主的に発信して判定を行います。判定はレベルの設定に依存します。
<input checked="" type="checkbox"/> 5.禁止語句・単語	このリストに登録されている語句・単語が含まれている場合、表示を禁止します。

### 3.6 フィルタリング機能解説

標準モード選択時に、以下の6つのフィルター機能のON/OFFの設定をカスタマイズできます。チェックを入れます。1から優先順にフィルタリングを行い、該当するページの表示を禁止、または許可をします。

(1) ブラック除外リスト

URLアドレスがこのリストに登録されていた場合、表示を許可します。

(2) ブラックリスト

URLアドレスがこのリストに登録されていた場合、表示を禁止します。

### (3) システムデータベース

「i-フィルター」のシステムデータベース（Active Rating サーバ）を使用して判定を行います。判定はブロックカテゴリの設定に依存します。

### (4) PICS

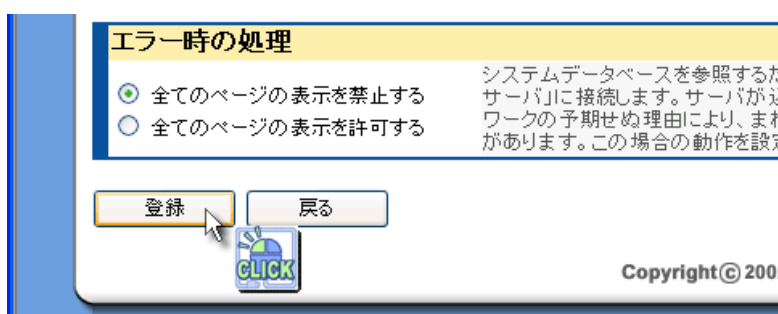
Platform for Internet Content Selection の略称。WWW コンソーシアム(W3C)によって開発された情報選択技術仕様。情報発信者が自分のコンテンツにこの信号を付加することで、受信者は閲覧するかどうかを選択することができます。「i-フィルター」はこの規格に対応しており、発信者による信号を読み取ってフィルタリングすることができます。

### (5) 禁止語句・単語

このリストに登録されている語句・単語がコンテンツに含まれていた場合、表示を禁止します。

## 3.7 エラー時の処理設定方法

①「エラー時の処理」を選択し、変更内容を保存するには、「登録」ボタンをクリックします。



## 3.8 エラー時処理の解説

システムデータベースを参照するために「Active Rating サーバ」に接続します。サーバが混み合った場合やネットワークの予期せぬ理由により、まれに接続できない場合があります。このときのホームページ表示動作を選択できます。

①すべてのページの表示を禁止する。

フィルタリング機能の ON/OFF にかかわらず、一時的に全てのホームページの閲覧を禁止します。

②すべてのページの表示を許可する。

フィルタリング機能の ON/OFF にかかわらず、一時的に全てのホームページの閲覧を許可します。

## 3.9 各種設定

### 3.9.1. 簡単設定解説

#### 小学生向け

性表現全般、暴力、年齢制限のある嗜好品、求人情報等含む生活情報一般サイト、個人情報流出の可能性があるコミュニケーション系・ショッピング系全般に関連するサイトが主なブロック対象となります。

#### 中学生向け

身体的生理現象及び性教育を除く性表現全般、暴力、年齢制限のある嗜好品、求人情報等含む一部生活情報一般サイト、個人情報流出の可能性があるコミュニケーション系・ショッピング系全般に関連するサイトが主なブロック対象となります。

#### 高校生向け

身体的生理現象及び性教育、直接的でない性表現を除く性表現全般、暴力、年齢制限のある嗜好品、個人情報流出の可能性があるコミュニケーション系・ショッピング系に関連するサイトがブロック対象となります。

### 3.9.2. 個別設定

#### 個別設定...

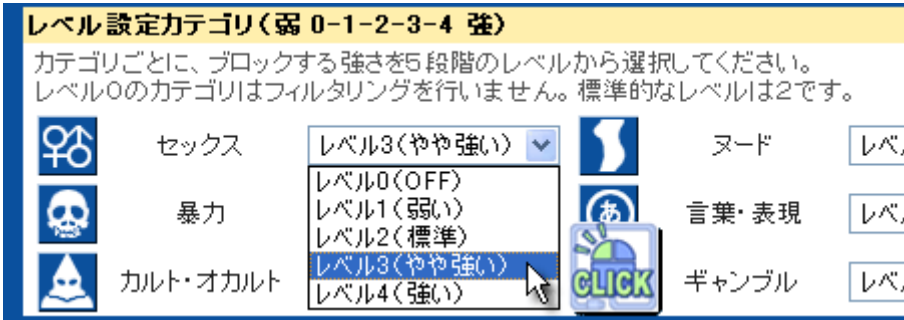
上記簡易設定よりもさらに詳細な設定が可能です。現在の設定内容を確認する場合もこのモードを参照してください。

## 3.10 ブロックカテゴリ詳細

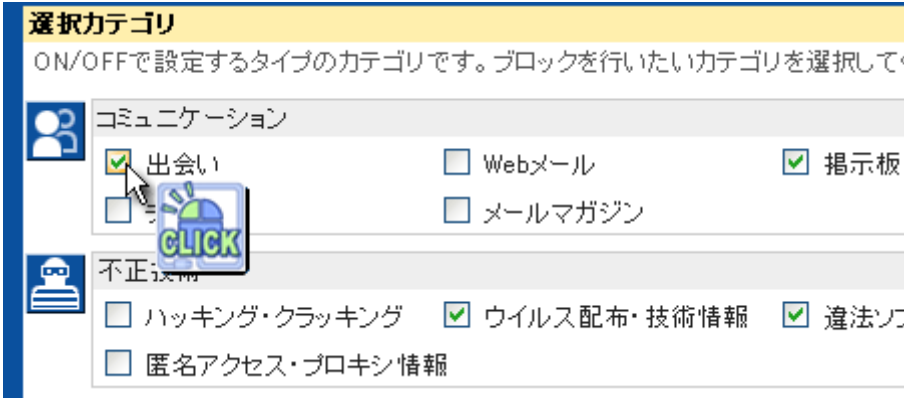
システムデータベースでブロックする際のカテゴリの選択と強度を設定します。システムデータベースのカテゴリは「レベル設定カテゴリ」と「カテゴリ選択」の2つに分類され、全部で 32 カテゴリをカスタマイズできます。設定の変更方法は、「ブロックカテゴリの変更方法」をご覧ください。

### 3.10.1. ブロックカテゴリ設定方法

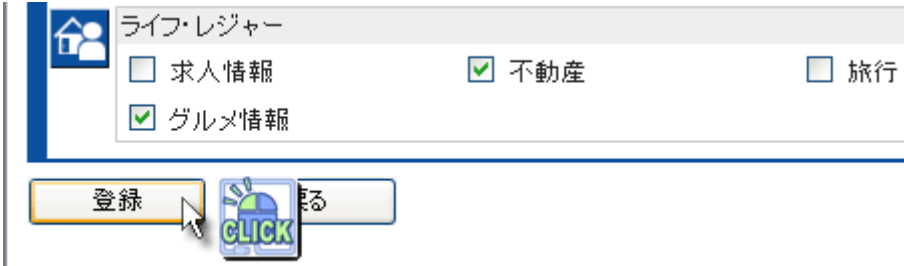
①「レベル設定カテゴリ」のレベルを「0～4」から選択します。



② 「カテゴリ選択」 でフィルタリングするカテゴリを選択します。



③変更内容を保存するには「登録」 ボタンをクリックします。



### 3.10.2. レベル設定カテゴリ (弱 0 - 1 - 2 - 3 - 4 強)

「レベル設定カテゴリ」には以下の 6 カテゴリがあり、各カテゴリごとにフィルタリングのレベル強度を"0~4"の 5 段階で設定できます。レベルを強く設定するほど、該当カテゴリの意味合いが弱い/穏やかな内容までフィルタリングされます。例えばレベル 4 の場合、レベル 1~3 の内容もあわせてフィルタリングします。

インストール時の初期設定は、"レベル 2 (標準)" に選択されています。

### 3.10.3. カテゴリ選択

「カテゴリ選択」には 26 カテゴリがあり、チェックを入れるとブロック"ON (有効)"の状態とチェックが外れている"OFF (無効)"の状態の選択ができます。

## 3.11 使用禁止時間の追加と削除

### 3.11.1. 使用禁止時間の追加方法

①使用禁止時間を追加するには、まず使用禁止にする曜日を指定してください

#### ネット禁止時間の追加と削除

禁止時間の開始・終了を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。「追加ボタン」を  
に保存されます。

毎日 0 : 00 から 0 : 00 まで 追加

毎日  
毎週日曜日  
毎週月曜日  
毎週火曜日  
毎週水曜日  
毎週木曜日  
毎週金曜日  
毎週土曜日

CLICK 使用禁止時間リスト

②次に、使用禁止にする時間帯を指定してください。

#### ネット禁止時間の追加と削除

禁止時間の開始・終了を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。「追加ボタン」を  
に保存されます。

毎週日曜日 19 : 00 から 24 : 00 まで 追加

CLICK 使用禁止時間リスト

③「追加」をクリックすると、禁止時間が追加されます。

#### ネット禁止時間の追加と削除

禁止時間の開始・終了を選択して「追加」ボタンをクリックしてください。「追加ボタン」を  
に保存されます。

毎週日曜日 19 : 00 から 24 : 00 まで 追加

CLICK 使用禁止時間リスト

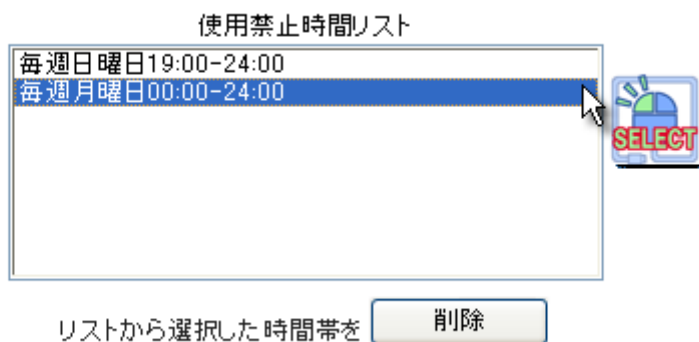
毎週日曜日 19:00-24:00

※「21:00～5:00」など24時をはさんで設定したい場合は、以下のように設定を2つに分けて追加してください。

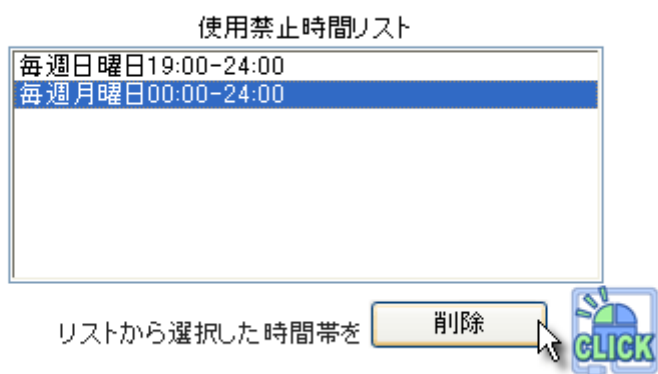
- ・リスト1. 「21:00～24:00」
- ・リスト2. 「0:00～5:00」

### 3.11.2. 使用禁止時間の削除方法

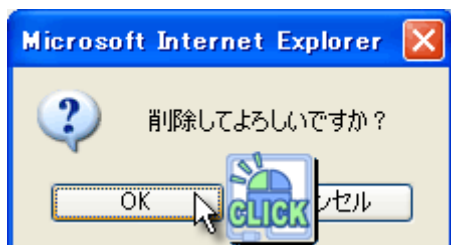
①使用禁止時間を削除するには、まず使用禁止にする曜日を指定してください。



次に、削除をクリックしてください。



削除の確認が表示されますので、削除する場合は「はい」を、削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。



削除の確認が表示されますので、削除する場合は「はい」を、削除を取り消す場合は「キャンセル」をクリックしてください。

#### 使用禁止時間リスト

毎週日曜日19:00-24:00
------------------

リストから選択した時間帯を

削除

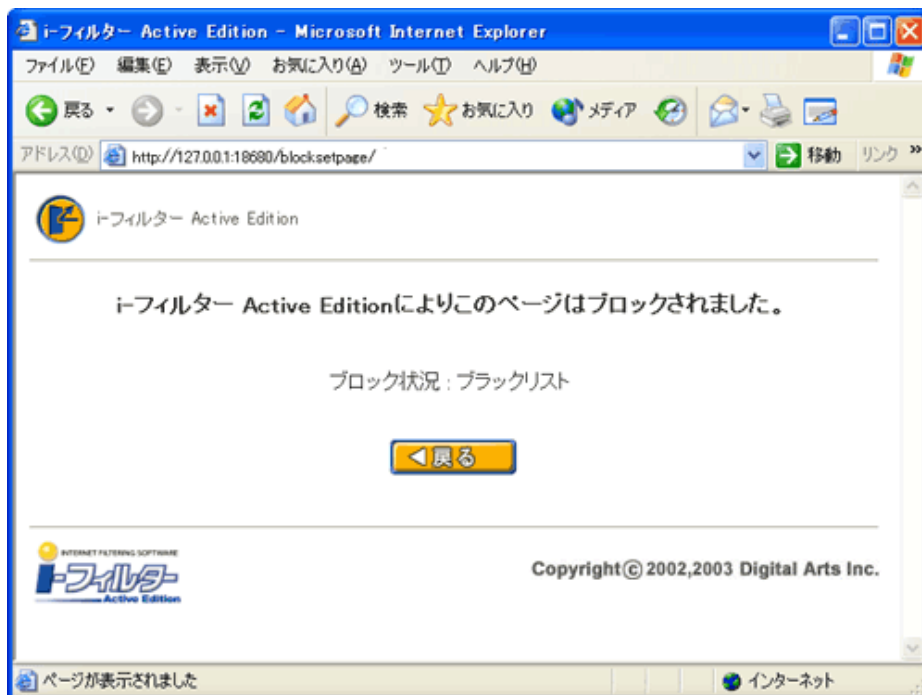
---

### 3.12 ブロック画面

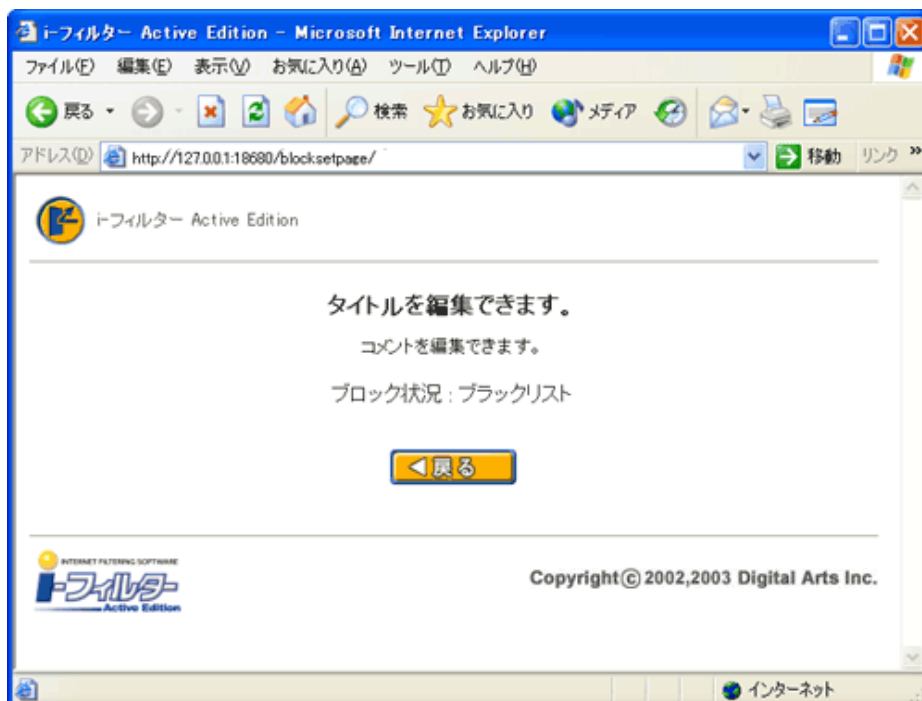
「ブロック画面」では、フィルタリング機能によりブロックされた際に表示する画面の設定を行います。ブロック画面は「標準」、「ユーザー定義」、「アクセス禁止」、「ページが見つからない」の4つが選択できます。ユーザー定義の設定を使用する場合、全角 100 文字（半角 200 文字）以内で入力してください。



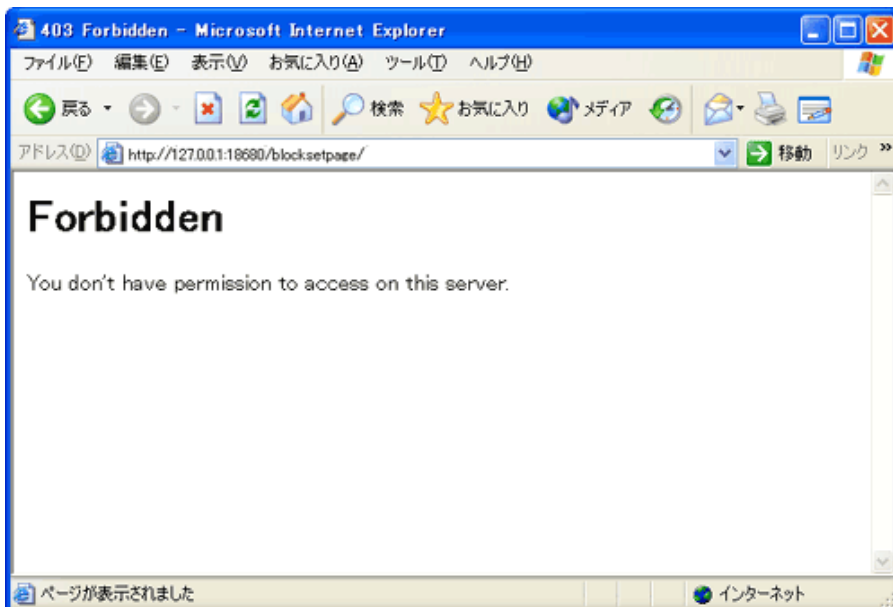
①標準・・・「i-フィルター Active Edition」の標準のブロック画面を表示します。



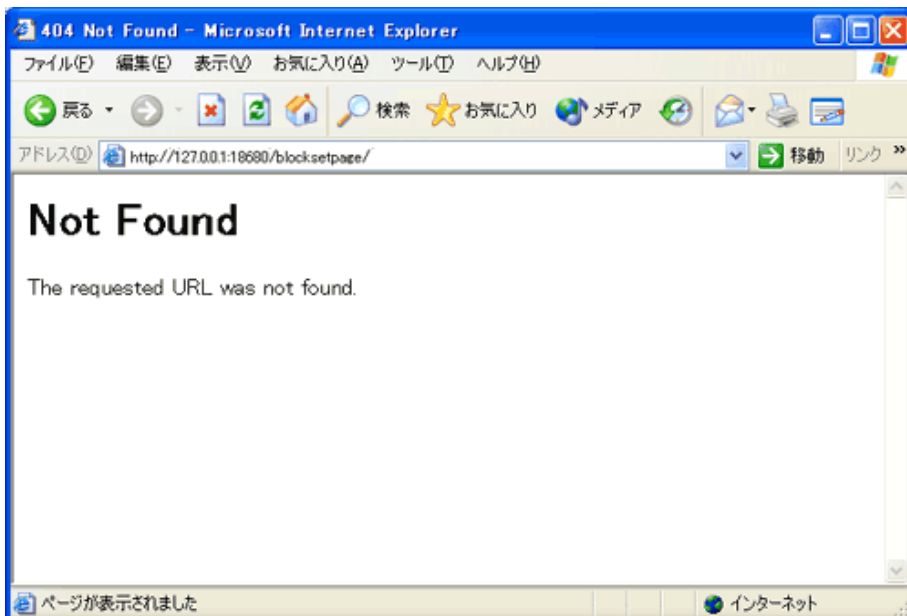
②ユーザー定義・・・「ユーザー定義の設定」によってタイトルとコメントを編集することができます



③アクセス禁止・・・エラーコード 403 の「Forbidden」を表示します。このエラーは通常、サーバが「読み出し禁止」にしているコンテンツをブラウザが読もうとした場合に表示されます。

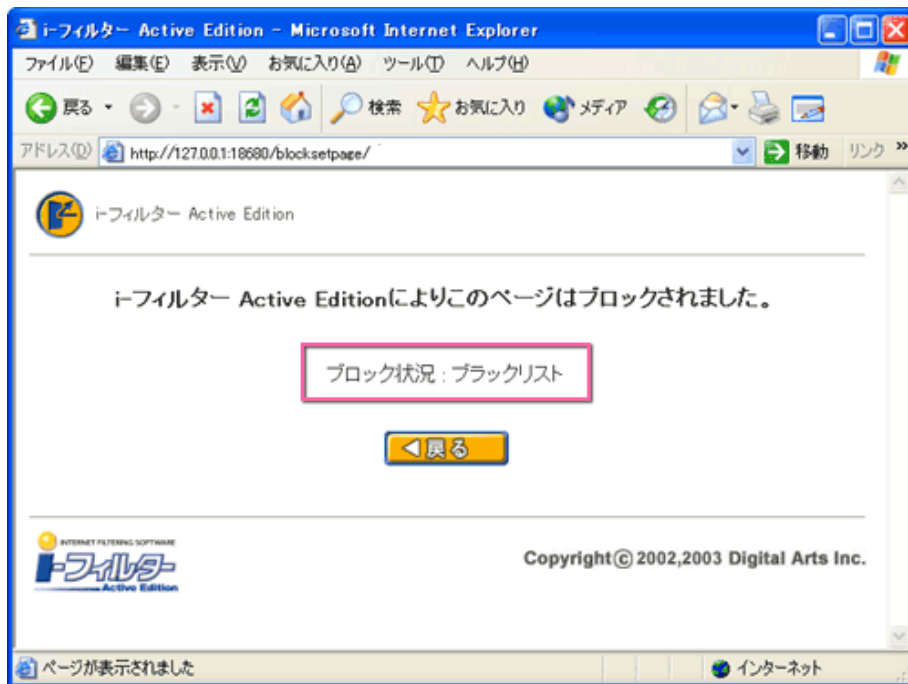


④ページが見つからない・・・エラーコード 404 の「Not Found」を表示します。このエラーは通常、指定された URL アドレスは存在しない場合に表示されます。



### 3.13 ブロック状況を表示する

チェックを入れると、ブロック画面に、ブロックされたカテゴリ名を表示します。標準またはユーザー定義を選択したときのみ有効です。



### 3.14 ユーザー定義の設定

①"ブロック画面の選択"項目でユーザー定義を選択した際に有効になります。

登録
戻る
プレビュー
☰

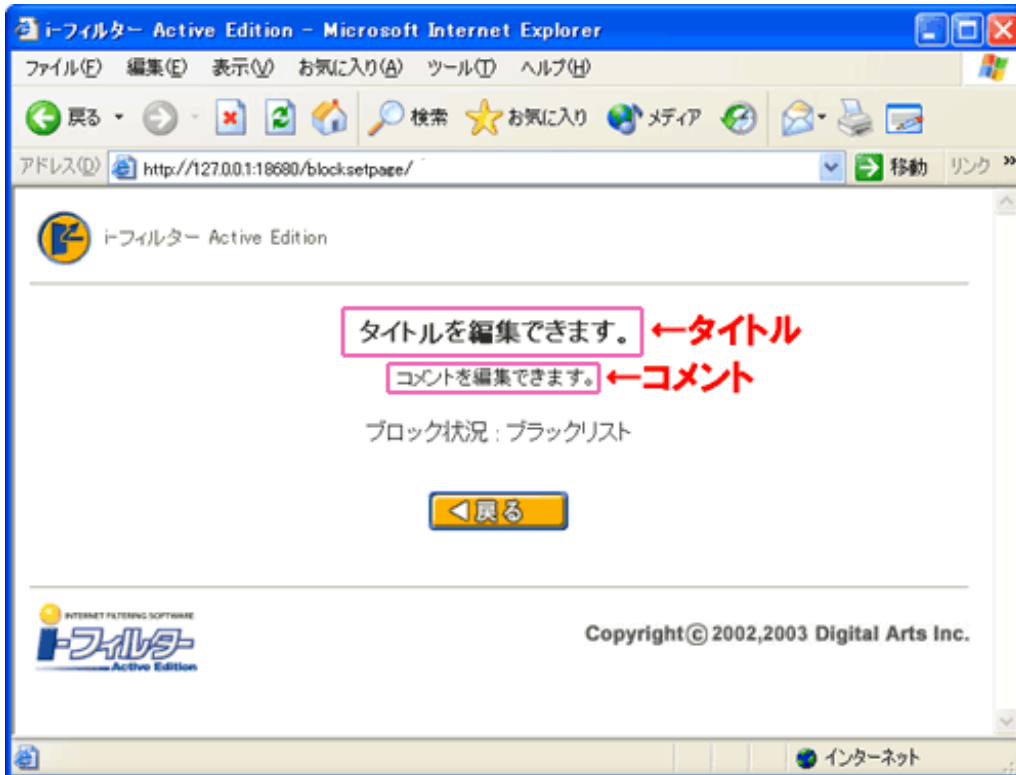
#### ブロック画面の選択

<input type="radio"/> 標準	標準のブロック画面を表示します。
<input checked="" type="radio"/> ユーザー定義	下記で入力されたメッセージを表示し、エラーコード403の「Forbidden」を表示常、サーバが「読み出し禁止」にしている場合に表示されます。
<input type="radio"/> 「アクセス禁止」	
<input type="radio"/> 「ページが見つからない」	エラーコード404の「Not Found」を表示常、指定されたURLは存在しない場合
<input checked="" type="checkbox"/> ブロック状況を表示する	標準またはユーザー定義を選択したと

#### ユーザー定義の設定

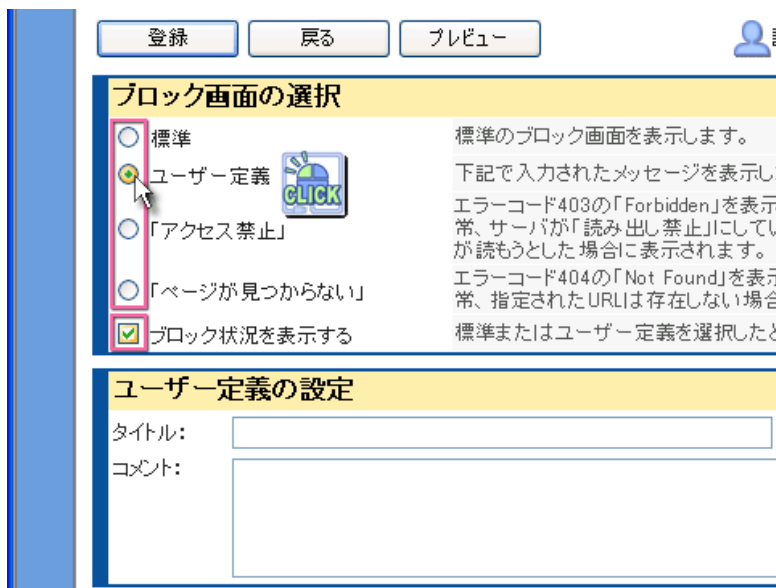
タイトル:

コメント:




### 3.15 ブロック画面設定方法

①「標準」、「ユーザー定義」、「アクセス禁止」、「ページが見つからない」から使用したいブロック画面を選択します。「標準」、「ユーザー定義」を選択した場合は「ブロック状況を表示する」かどうか選択してください。



変更内容を保存するには「登録」ボタンをクリックします。

登録 戻る プレビュー 

### ブロック画面の選択

<input type="radio"/> 標準	標準のブロック画面を表示します。
<input checked="" type="radio"/> ユーザー定義	下記で入力されたメッセージを表示し、エラーコード403の「Forbidden」を表示。常、サーバが「読み出し禁止」になっているが読もうとした場合に表示されます。
<input type="radio"/> 「アクセス禁止」	エラーコード404の「Not Found」を表示。常、指定されたURLは存在しない場合に表示されます。
<input type="radio"/> 「ページが見つからない」	エラーコード404の「Not Found」を表示。常、指定されたURLは存在しない場合に表示されます。
<input checked="" type="checkbox"/> ブロック状況を表示する	標準またはユーザー定義を選択したときにブロック状況を表示します。

### ユーザー定義の設定

タイトル:


コメント:

### 3.16 環境設定

プロキシサーバの設定と起動時の設定を行います。プロキシサーバの設定はブラウザのプロキシサーバをお使いでない方は必要ありません。また、待ち受けポート番号が他のアプリケーションで既に利用されていた場合は、自動で変更する場合がありますのでご注意ください。

#### 3.16.1. 環境設定の変更方法

①「待ち受けポート番号」を必要があれば変更します。通常は変更する必要はありません。

登録 戻る 

※記号のついた項目はI-フィルターの再起動後から有効になります。

**待ち受けポート番号**

ポート: 18680 \*

**HTTPプロキシサーバの設定**

ブラウザの設定を自動的に書き換える (Internet Explorer 5.0以上)※  
起動前に設定されていたプロキシサーバ アドレス:

ブラウザのLANの設定を自動的に引き継ぐ

他のプロキシサーバを経由しない

他のプロキシサーバを経由する  
アドレス:  ポート:

**Secure(HTTPS)プロキシサーバの設定**

ブラウザの設定を自動的に書き換える (Internet Explorer 5.0以上)※  
起動前に設定されていたプロキシサーバ アドレス:

ブラウザのLANの設定を自動的に引き継ぐ

他のプロキシサーバを経由しない


他のプロキシサーバを経由する  
アドレス:  ポート:

**起動時の設定**

Windows起動時に自動起動する※

タスクトレイアイコンとスプラッシュの表示※

②「HTTP プロキシサーバーの設定」、「Secure(HTTPS)プロキシサーバーの設定」を必要があれば設定します。通常は変更する必要はありません。



※記号のついた項目はi-フィルターの再起動後から有効になります。

**待ち受けポート番号**

ポート:  ※

---

**HTTPプロキシサーバの設定**

ブラウザの設定を自動的に書き換える(Internet Explorer 5.0以上)※  
 起動前に設定されていたプロキシサーバ      アドレス:

ブラウザのLANの設定を自動的に引き継ぐ  
 他のプロキシサーバを経由しない  
 他のプロキシサーバを経由する  
 アドレス:       ポート:

---

**Secure(HTTPS)プロキシサーバの設定**

ブラウザの設定を自動的に書き換える(Internet Explorer 5.0以上)※  
 起動前に設定されていたプロキシサーバ      アドレス:

ブラウザのLANの設定を自動的に引き継ぐ  
 他のプロキシサーバを経由しない  
 他のプロキシサーバを経由する  
 アドレス:       ポート:

---

**起動時の設定**


Windows起動時に自動起動する※  
 タスクトレイアイコンとスプラッシュの表示※

③「起動時の設定」を必要があれば設定します。通常は変更する必要はありません。

**起動時の設定**

Windows起動時に自動起動する※  
 タスクトレイアイコンとスプラッシュの表示※

③変更内容を保存するには「登録」ボタンをクリックします。



※記号のついた項目はi-フィルターの再起動後から有効になります。

**待ち受けポート番号**

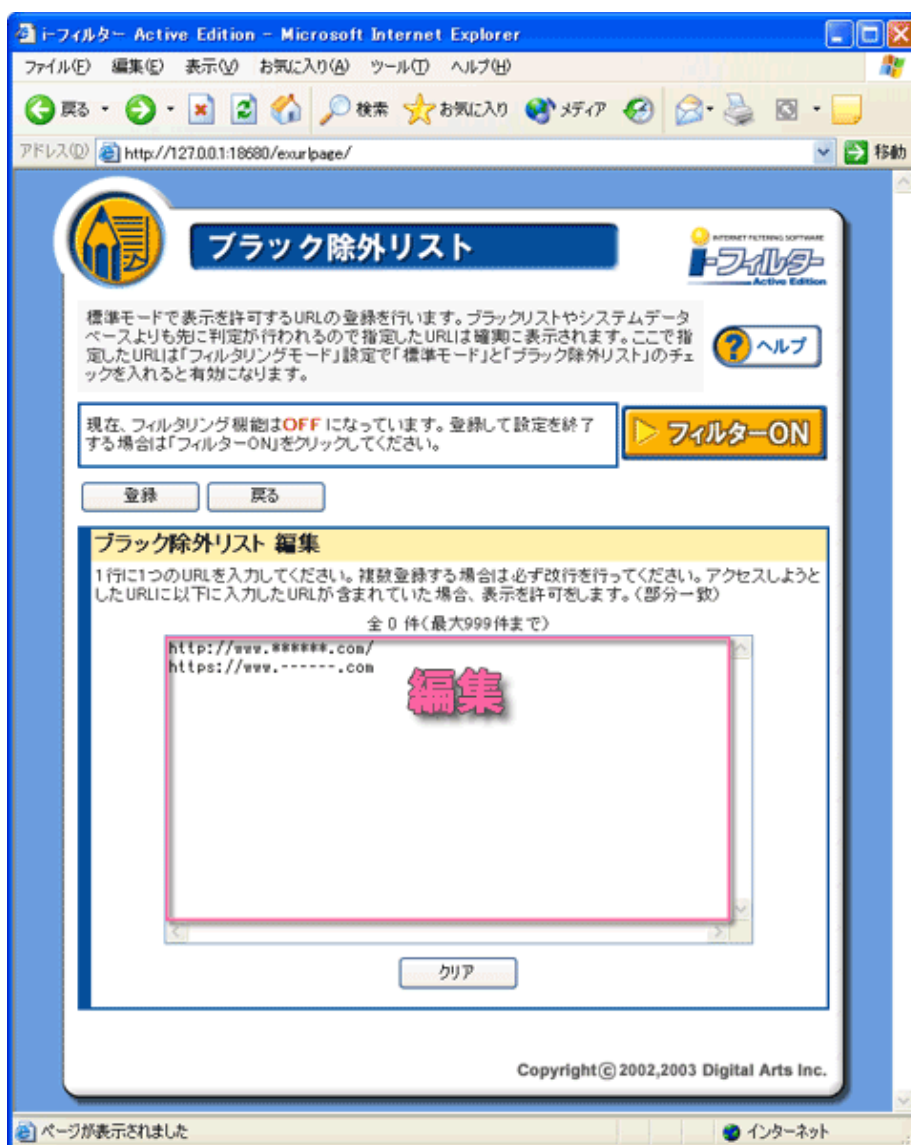
## 4. 共通設定

### 4.1 ブラック除外リスト

「ブラック除外リスト」では、必ず閲覧を許可するために使用する「ブラック除外リスト」の編集を行うことができます。1行に1つのURLアドレスを入力します。**複数登録する場合は必ず改行を行ってください。**アクセスしようとしたURLアドレスに下記の登録URLアドレスが含まれた場合、表示の許可を行います。(部分一致)

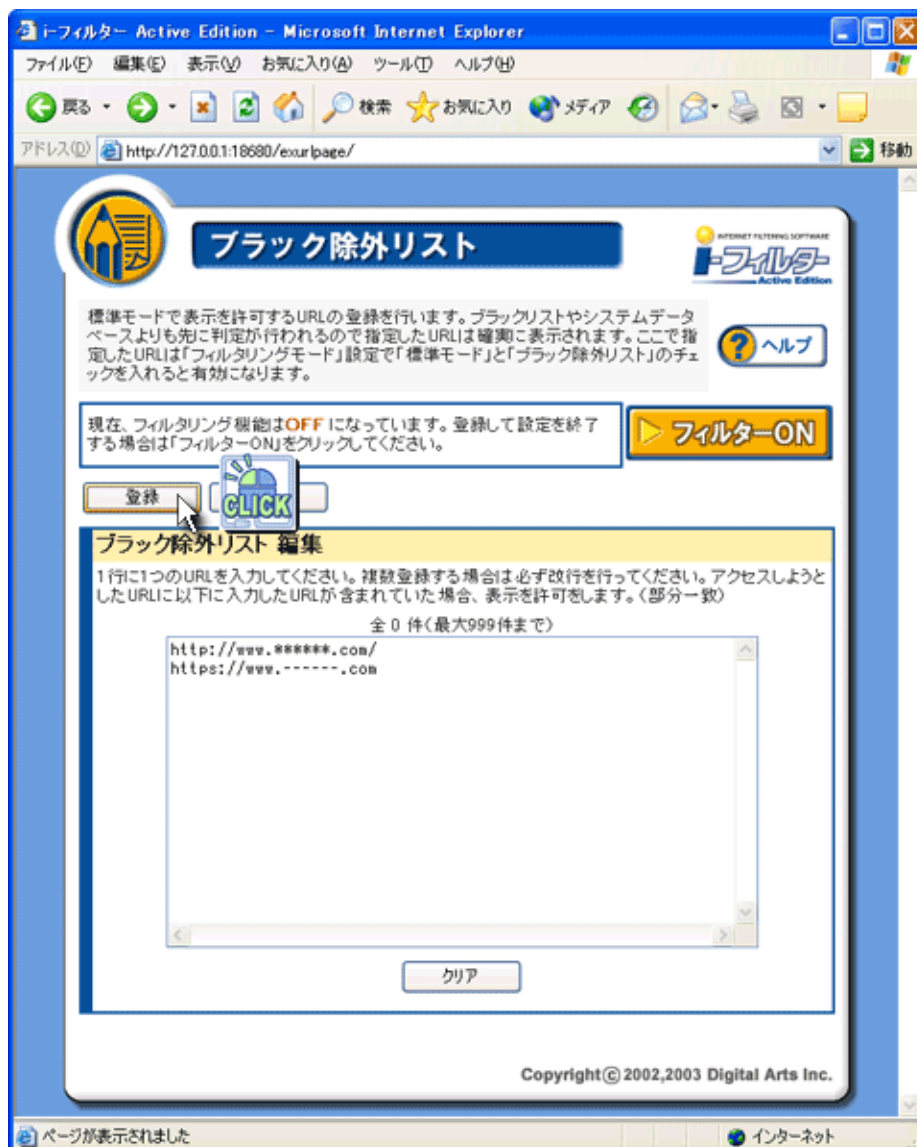
#### 4.1.1. ブラック除外リストの設定方法

① 追加したいURLアドレスをテキストエリアに入力します。





② 編集した URL アドレスを登録するには「登録」ボタンを押してください。

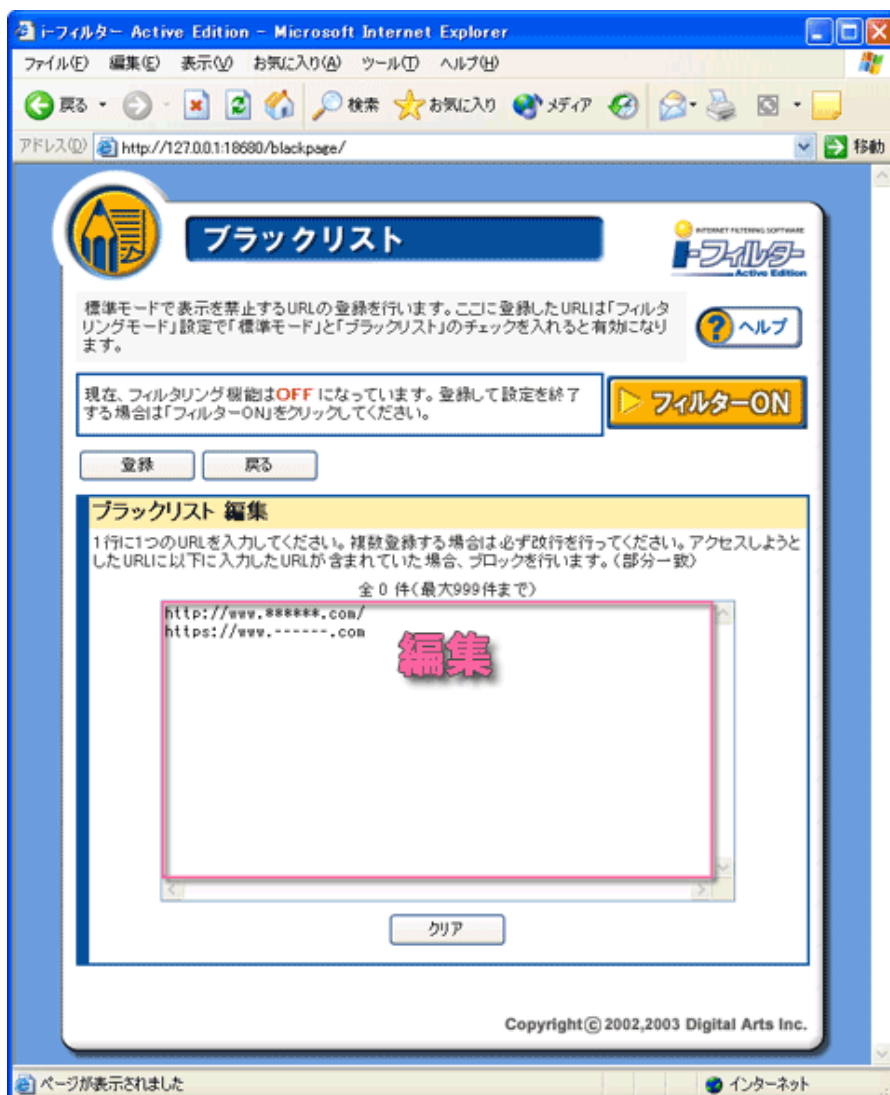


## 4.2 ブラックリスト

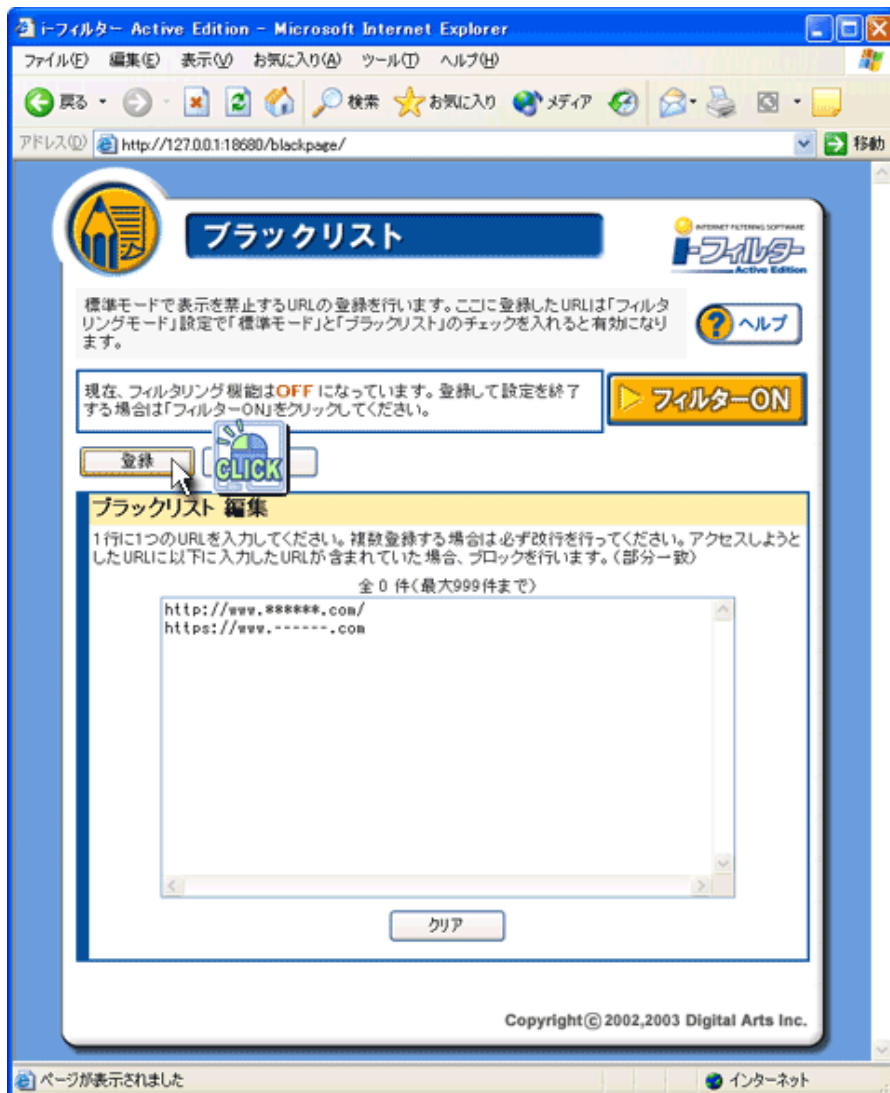
「ブラックリスト」では「標準モード」時に、システムデータベースに登録された URL アドレスの閲覧禁止に加え、さらに特定のホームページを閲覧できないようにするために使用する URL アドレスリスト《ブラックリスト》の編集を行うことができます。

#### 4.2.1. ブラックリストの編集方法

- ① 追加したい URL アドレスをテキストエリアに入力します。



② 編集した URL アドレスを登録するには「登録」ボタンを押してください。



#### 4.3 禁止語句・単語

「禁止語句・単語」では「標準モード」時に、特定の単語が含まれたページの閲覧を禁止するために使用する単語リスト《禁止語句・単語》の編集を行うことができます。

#### 4.3.1. 禁止語句・単語の設定方法

- ① 追加したい禁止語句・単語をテキストエリアに入力します。



② 編集した禁止語句・単語を登録するには「登録」ボタンを押してください。

インターネットフィルター Active Edition - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 検索 お気に入り メディア 移動

アドレス http://127.0.0.1:18680/wordpage/

## 禁止語句・単語

標準モードでコンテンツに含まれていた場合に表示を禁止する語句・単語の登録を行います。ここに指定した語句・単語は「フィルタリングモード」設定で「標準モード」と「禁止語句・単語」のチェックを入れると有効になります。

現在、フィルタリング機能はOFFになっています。登録して設定を終了する場合は「フィルターON」をクリックしてください。

**登録** **CLICK** **ヘルプ** **フィルターON**

### 禁止語句・単語 編集

1行に1つの語句・単語を入力してください。複数登録する場合は必ず改行を行ってください。アクセスしたコンテンツの中に以下に入力した語句・単語が含まれていた場合、ブロックを行います。(部分一致)

全 0 件(最大999件まで)

禁止単語  
禁止語句

**クリア**

Copyright© 2002,2003 Digital Arts Inc.

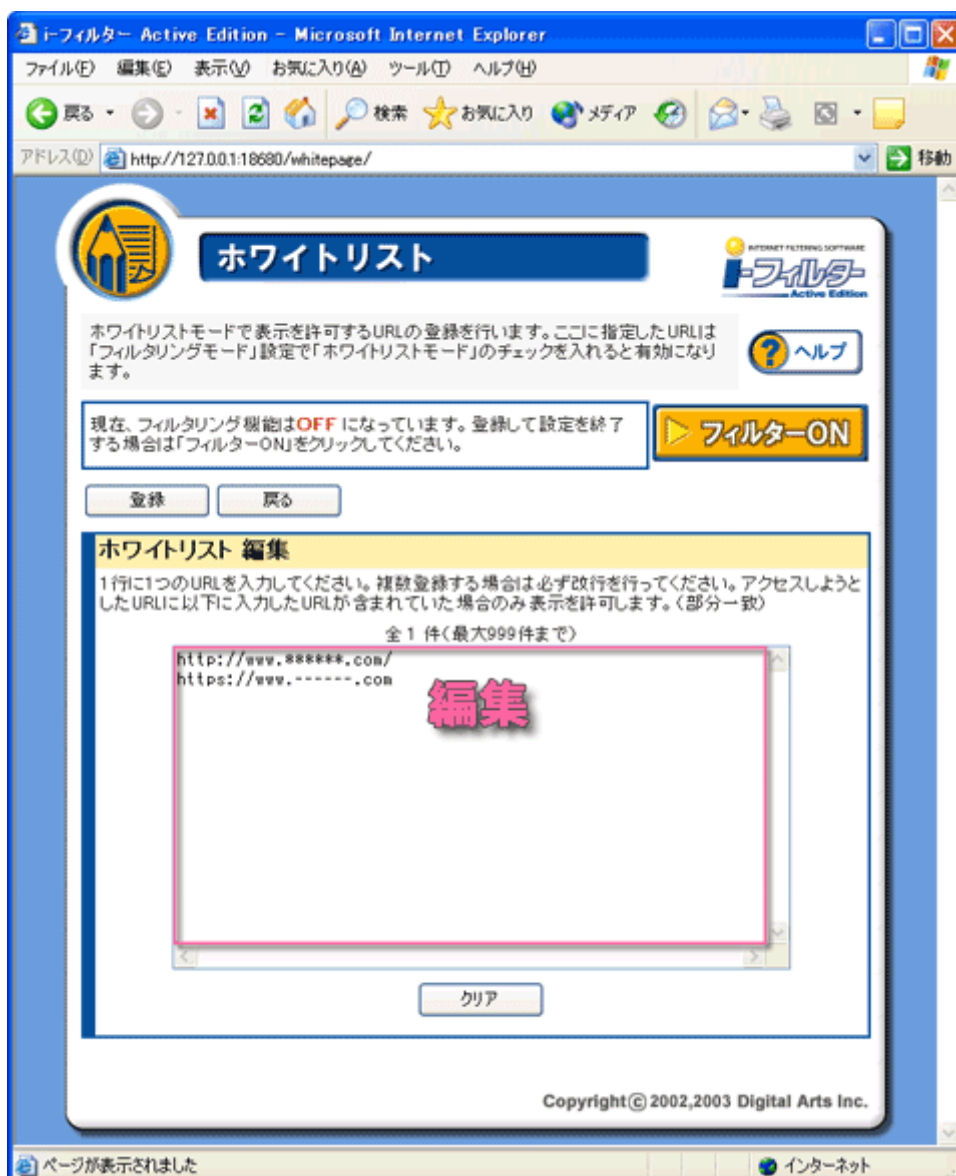
ページが表示されました インターネット

#### 4.4 ホワイトリスト

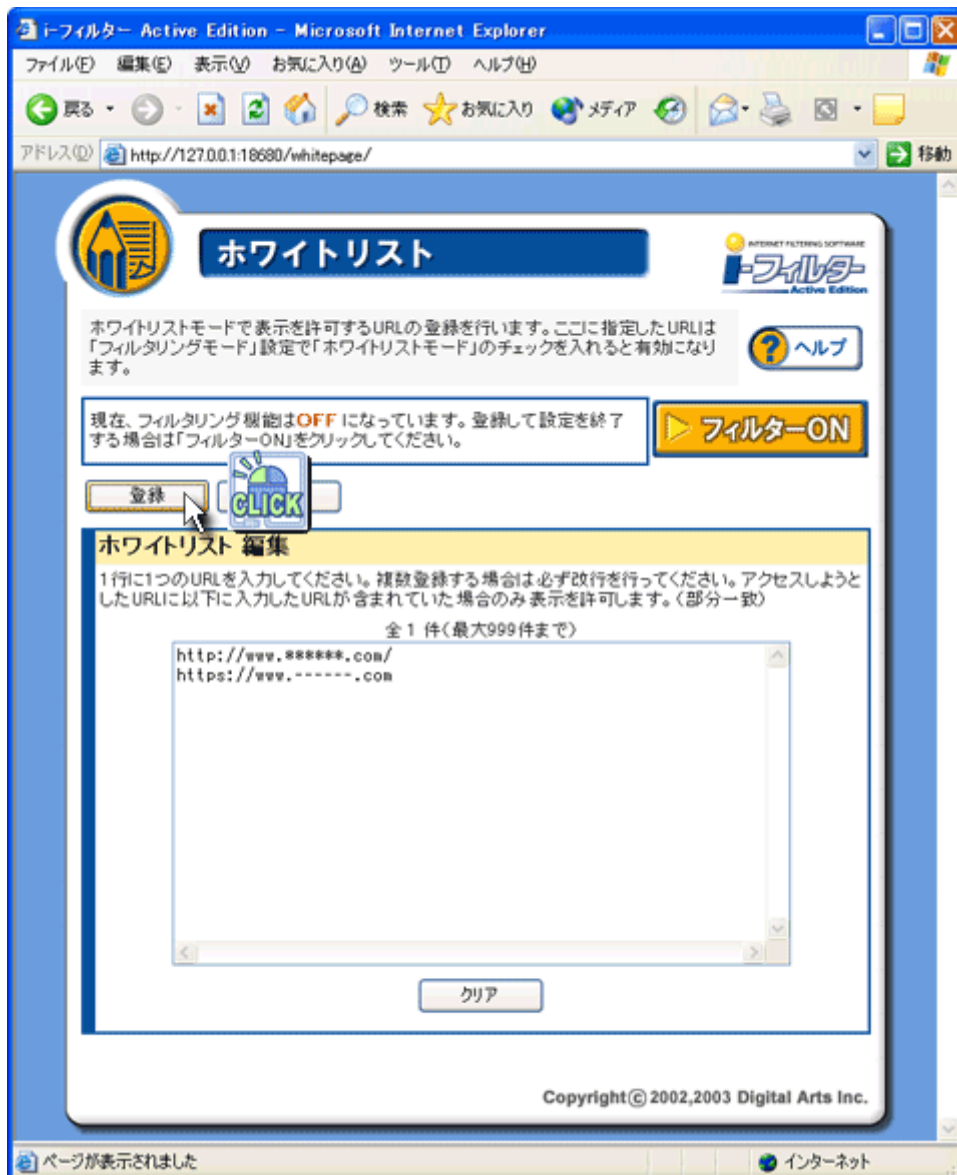
「ホワイトリスト」では「ホワイトリストモード」時に、閲覧を許可するために使用する URL アドレスリスト《ホワイトリスト》の編集を行うことができます。ここに指定した URL アドレスは「フィルタリングモード」設定で「ホワイトリストモード」のチェックを入れると有効になります。

##### 4.4.1. ホワイトリストの設定方法

- ① 追加したい URL アドレスをテキストエリアに入力します。



② 編集した URL アドレスを登録するには「登録」ボタンを押してください。



## 4.5 ユーザーモード変更

マルチユーザーモード、シングルユーザーモードを切り換えます。シングルユーザーモードにすると全てのユーザーに同じ設定が適応されます。

### 4.5.1. マルチユーザーモード (Windows2000/XP のみ対応)

ユーザーアカウントごとに設定を登録できます。

### 4.5.2. シングルユーザーモード (Windows98/Me/2000/XP)

全てのユーザーに同じ設定が適応されます。

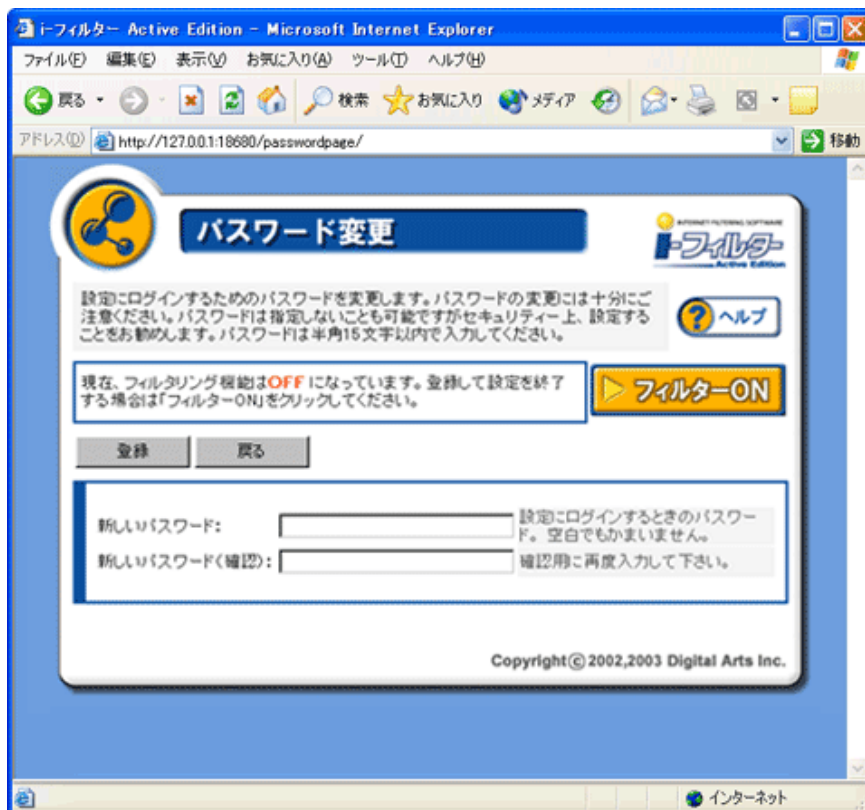
## 4.6 パスワード設定

「パスワード設定」画面では、『設定パスワード』の変更・設定ができます。

i-フィルター Active Edition」の設定にログインするときに使用するパスワードです。空白でもかまいません

### 4.6.1. パスワード設定方法

①『設定パスワード』項目に変更したい『設定パスワード』を入力します。「登録」ボタンを押すと反映されます。





## 5. その他機能

### 5.1 ログ表示

「ログ表示」では、全ユーザーのすべてのアクセスログの閲覧、およびログからブラックリスト、ブラック除外リスト、ホワイトリストへの追加が行えます。

#### 5.1.1. ログに記録された URL アドレスをブラックリスト、ブラック除外リスト、ホワイトリストに追加する方法

- ① ブラックリスト、ブラック除外リスト、ホワイトリストに追加したい URL アドレスを選択します。



② 追加したいリストのボタンを押してください。



## 5.2 バージョン情報

## 5.3 製品バージョン情報

「i-フィルター Active Edition」のバージョン情報を表示します。サポートなどにこのバージョン情報が必要になります。

## 5.4 不正な操作に関する情報

不正なパスワードが入力された回数とスタートアップ用のレジストリが不正に変更された回数を表示します。不正な操作に関する情報の値が異常に多かった場合はユーザーが不正を行おうとした合図です。

## 5.5 認証情報

AR サーバの接続状態と最終認証時間を表示します。AR サーバの詳しい接続状態は以下を参照してください。

### 5.5.1. 正常時のステータス

**NoUse** : 初回アクセス時に認証を行います。

1 度も AR サーバに問合せを行っていません。初めてインターネットに接続した時に AR サーバにユーザー認証の問合せを行います。

**Active** : 正常です。

AR サーバとの通信が正常に行われています。

### 5.5.2. 異常時のステータス

**NoActive** : Active Rating Server との接続に失敗しました。

インターネットに接続されていない状態や AR サーバが停止しているなどの原因で AR サーバに接続に失敗しました。



「フィルタリングモード」の「エラー時の処理」にしたがって動作します。このとき、タスクトレイの「i-フィルター Active Edition」アイコンは"ON"の状態のままです。

**Close** : サービス未登録が不正です。

ユーザー認証に失敗しました。

サービスが終了しているかユーザーの登録が行われておりません。



フィルター機能が"OFF"になります。

**Stop** : サービスが停止されています。

サービスの使用期限が過ぎているか、もしくは停止中です。

サービスが終了している可能性もあります。



フィルター機能が"OFF"になります。

## 5.6 モジュールのバージョン

「i-フィルター Active Edition」で使用しているモジュールのバージョンを表示します。サポート等にこのバージョン情報が必要になります。